

新入生へお祝いの言葉

校庭の木々に若葉が芽吹き、大いなる自然の息吹を感じる季節となりました。

令和二年度第四十七期入学生を迎えることができますことは、私たち教職員にとりましてこの上ない喜びであります。新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。また、これまでお子様を大切に育み、支えてこられました保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

我々は今、新型コロナウイルス感染症という、かつて経験したことのない危機に直面しています。人の「集合」と「移動」を制限しなければ、感染の拡大を回避することはできません。この度、感染拡大防止の観点から入学式を中止せざるを得なかったことを大変申し訳なく思っています。どうか御理解をいただきたいと存じます。

本校は昭和四十一年に開校し、今年度で創立四十七年目を迎える普通科・外国語科の併置校です。校訓は「知・徳・体、文武両道」であります。文武両道と知・徳・体の調和を体得し、グローバルに活躍できる人材の育成に取り組んでいます。また、本校では、ICTを活用したアクティブラーニングや、外国語科の特徴を生かした国際理解教育など特色あるカリキュラムを展開しています。そして、全国大会や関東大会で活躍する多くの部活動があり、皆さんの活躍のステージは用意されています。

さて、今日は、society5.0という超スマート社会に突入したといわれます。Society5.0では、AI、IoT、ロボットなどの技術が加速度的に進展していきます。それによって新たなイノベーションが次々と創出されていきます。皆さんが実社会に出て活躍する時代には生活様式や職業観もさらに変化していくことでしょう。このような変化の先にあるものは何か、到着点はどこなのか、社会の未来を予測することは誰にとっても困難です。

しかし、解決の困難な課題を前にして、最初から恐れたり、自分には無理だと諦めたりする必要はありません。人間には、元来AIや機械にはできない素晴らしい能力が備わっています。その能力とは、クリエイティブな力や人間のもつ感性だと思います。人間のもつ創造力や感性は、AIや機械に取って替わることはできません。このような人間独自の能力をこれからはもっともっと磨いていかななくてはならないのだと思います。我々教職員は、確実な知識の基盤のうえに、このように豊かな人間力を育てていきます。

生徒の皆さんに望むことがあります。それは、よき学習者になってほしいということです。やらされて学ぶのではなく、自ら進んで学ぶ習慣を身につけてほしいのです。そしてどんな変化をも恐れず困難な課題にも果敢に挑戦する真の学習者になってほしいと思っています。自ら主体的に学ぶ姿勢がなければ、この先の厳しい大学受験にも勝つことができません。

我々教職員は生徒一人一人の第一希望を叶えるよう全力で教育活動に取り組んで参ります。夢の実現に向けて、高い志をもって多くのよき仲間たちと切磋琢磨してください。そして、悔いのない充実した三年間を送ってください。

結びになりますが、お子様の健やかな成長、そして自立のためには、学校と家庭との連携が不可欠です。保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

希望の春に、新入生三五八名の大きい成長を祈りつつ、お祝いの言葉といたします。

令和二年五月一日

埼玉県立越谷南高等学校長 新井和徳